

屯田小コラム ～屯コラ～ 屯田小の教職員が交代で、自分の大切にしている思いや願いを綴ります。

今回のコラムは、「高める」をテーマに思いや考えを綴っています。



「自分で決めること」

多くの情報があふれ、価値観が多様化している社会を自分らしく生きるためには、「自己決定する力」が不可欠です。自分で考えて判断することで責任感や達成感が生まれ、さらに自尊心による幸福感が高まりやすいとも言われています。自分の人生を振り返ってみると、日常の小さな選択から人生の岐路での大きな決断まで幾つもの選択肢を経て今に至っています。うまくいくこともあれば失敗することもあります。自分で決めることで、きっと成長できるのだと思います。学校でも家庭でも自己決定の場を大切にしていきたいですね。

「もっと自分のために」

昨年、4年生の道徳の時間。「自分たちは多くの人に支えられて生きている」という学習をしました。子どもたちは、感謝の言葉を口にします。両親へ、友達へ、習い事の先生やコーチへ、そして推しへ。「えっ？推し？」と思いました。「だって、元気をもらえるし、頑張ろうと思えるから。」「うん、うん。」と、みんな納得の様子。よく「人に優しく」と言いますが、自分に優しくなければ、できません。自分のためになることややりたいことをたくさん見つけ、行動し、蓄えた力を周りの人のために分けてあげられたら、素敵ですね。

「積み重ねることの大切さ」

若い頃アメリカの教育方法を学ぶため、全国の小中高教員と共に、南部の大学で学びながら、幼稚園～高校の様子を見学し、授業も行わせていただく研修に参加する機会がありました。アメリカの学校では、自由闊達に、討論やプレゼンを多用した授業形態を予想していましたが、実際は先生の話をもじって聞き、黙々と作文を書いたり、計算問題をたくさん解く授業など、基礎基本を大切にされた授業も多くて驚きました。また話の聞き方や話し方、廊下の歩き方や私語など、基本的な学び方や生活面での指導も多く、多くの学校で徹底されていました。どこの国でも、学校教育ではこうした一見地味に見える事の日々の指導の積み重ねが大切なんだなあと思えます。

「継続は力なり」

「継続は力なり」という言葉があります。これは、言葉通りに本当だと思います。例えば、漢字の学習に、毎日少しずつでも日々休まずに学習すると、1か月、3か月となるうちに自分でも分かるような成果が出てきて自信になります。しかし、やろうと思ってもなかなか継続できないこともありがちです。しかし、「好きこそものの上手なれ」で、自分の好きなことであれば継続しやすくなります。多少の苦手も好きになることが継続のコツです。もう一つのコツは、習慣にすることです。食事の前に、あるいは後に取り組むというように、生活の一部に関連付けると習慣になりやすいようです。

